

## 基本理念

# 一人ひとりが思いやり 安心して暮らす村づくり

誰もが住み慣れた地域で、安心して豊かな生活を送れるよう、「一人ひとりが思いやり安心して暮らす村づくり」を基本理念とし、地域全体で福祉活動に取り組み、共に助け合い支え合う地域社会の実現を目指します。

## 基本目標

「榛東村ぶどう郷」にふさわしく、ワインづくりにたとえ「手摘みで収穫、压榨・絞り出し、発酵、美味しいワインへ熟成」をイメージした基本目標を設定し、住民一人ひとりから村づくりまで、総合的な地域福祉施策を地域住民と行政・社会福祉協議会が一体となって推進します。

### 基本目標 1 支え合い、一人ひとりがつながる村づくり

《情報収集・発信》

手摘みで収穫



一人ひとりの心配ごとなど何でも相談でき、悩みや不安を解消するために、個別の住民ニーズに対応できる専門性を備えた相談事業の展開と同時に、情報を発信し周知・拡充を行い、さらに住民同士による日頃からの声かけや見守り、また、身近な生活課題や福祉ニーズを把握するための活動などを進めます。

### 基本目標 2 一人ひとりの想いをかたちにする村づくり

《互いに学び育む》

压榨・絞り出し



地域福祉に対する理解と関心を高め、福祉活動に参加する意識を育むため、福祉やボランティアに関する学習や住民同士の話し合いの場をつくり、住民一人ひとりが地域福祉活動を担う一員としての自覚をもつことができる村づくりを推進します。

### 基本目標 3 つながりが生み出すふれあい豊かな村づくり

《みんなの知恵を絞り出す》

発酵



福祉・医療・保健・教育・地域組織などの関係機関や団体との連携を深め、地域福祉活動に対する共通の意識や連帯感を図り、きめ細やかな支援体制の確立に繋がる顔のみえる組織のネットワークを構築します。

### 基本目標 4 協働による安全・安心な村づくり

《支援活動の充実》

美味しいワインへ熟成



住民が住み慣れた村で安心して暮らし続けられるように、交流の場やふれあいの機会の充実を図り、支え合い、助け合い、共に歩む地域を再構築し、住民一人ひとりや各種機関・団体が、住みやすい安心した地域をつくるための取り組みを進めます。